

群馬県主催 BLSOコース

in 前橋赤十字病院

開催日：2025年 12月20日（土） & 21日（日）

このたび、群馬県主催にて、BLSO(Basic Life Support in Obstetrics)のプロバイダーコースを企画いたしました。

BLSOとは、病院前産科救急(妊婦交通外傷・病院外での急な分娩・新生児蘇生など)の初期対応ができる能力を身につけたい医療者のための実践的なトレーニングプログラムです。特に病院前や救急室にて産科救急に突然遭遇する可能性がある救急救命士・救急医・救急看護師などが対象となります。

講義だけでなく、マネキンを使用した少人数グループのワークステーションで、より実践的な知識と技術を学ぶことができます。

また、大規模災害時においても産科を専門とする医療従事者以外が妊産婦、新生児の救急に遭遇することが想定されるなど、病院前妊産婦救護を目的とした研修の重要性が高まっています。

BLSOコースには実技試験と筆記試験が含まれており、試験に合格した場合、American Academy of Family Physicians (AAFP-米国家家庭医学会)、ALSO-japan (Advanced Life Support in Obstetrics) が認定する3年間有効な認証を受けることができます。

※当コースは、群馬県の救急医療にかかわる救急隊員や医師・看護師・助産師を対象としたコースです。
県外公募はいたしませんので申し訳ございませんが、ご了承ください。

【コース概要】：BLSOプロバイダーコース

主 催：群馬県

共 催：前橋赤十字病院・NPO法人周生期医療支援機構

開催場所：前橋赤十字病院 研修センター 大会議室及び講堂 他

日 時：2025年 12月20日(土)および21日(日) 《 各日、1コースとして2回開催 》

定 員：各日 24名

対 象 者：群馬県内の救急救命士、救急隊員(救急科修了者)
救急医、産科医、看護師、助産師 等

受講料：無料 ※テキスト代は含まない

受講募集：県より各関係機関へ通知。(公募はいたしません。)

※ 教材の容量が大きいので、必ずパソコンのメールアドレスでお申し込みください。
(アドレスは必ず参加者ご本人のものでお願いいたします。)

お問い合わせ先：群馬県健康福祉部 医務課救急災害医療係 担当(船戸)

電話：027-226-2534

E-mail funato-keita@pref.gunma.lg.jp



【テキスト（事前学習に必要です）】※ 事前学習のための参考図書となります。

- ① 改訂2版 病院前新生児蘇生法テキスト
(監修：細野茂春 発行：メディカ出版)
- ② 病院前救護のための産科救急トレーニングー妊娠女性・院外分娩に対する実践的な対処法
(監訳：新井隆成 発行：中外医学社)

【群馬県BLSOプロバイダーコース スケジュール（参考）】

※ 時間割については受講決定の際に詳細をお知らせいたします。

※ 研修会の終了時刻について、進捗により延長する場合がございます。

※ 感染症などの流行状況により中止となることもございます。

時 間	内 容
事前学習 (eラーニング)	1.「分娩介助」 2.「新生児蘇生」 3.「女性傷病者の評価」 4.「マタニティーケアの安全性」の講義を視聴し確認テストを行う。 (1 か月前から当日の2 日前までに各自実施)
当日 8:30-8:45	《 集 合 研 修 》
	受 付
	オープニング ・ コースオリエンテーション
	分娩介助（肩甲難産 分娩第3期の管理を含む）実技練習
	新生児蘇生法（手技の確認 シナリオ演習）実技練習
	女性傷病者の評価 （症例を想定した演習）
	ラ ン チ タイ ム
	試 験 準 備（試験オリエンテーション）
	実 技 試 験
	筆記 試 験
	救急車内分娩
	グループワーク（症例検討 2 例）
16:45-17:00	ク ロ ー ジ ン グ

【アクセス MAP】



<https://www.maebashi.jrc.or.jp/map/index.html>

■前橋駅から約4 km

■北関東自動車道・前橋南ICから約3.4 km

■JR「前橋駅」から車で約13分

■JR「前橋大島駅」から車で約8分

■JR「高崎駅」から車で約25分

■群馬バス、日本中央バス、群馬中央バスにて

「日赤病院」下車

※休日のバス運行はありません。

〒371-0811 群馬県前橋市朝倉町 389-1

☎ 027-265-3333（代表）



前橋赤十字病院

Japanese Red Cross Maebashi Hospital